

令和5年度 第2回 伊東市立八幡野小学校学校運営協議会

令和5年10月12日 11時より 会議室

参加者 関谷会長 稲葉副会長 小田委員 大村委員 萩原委員 伊代野委員
五十嵐委員 中西委員

欠席者 佐藤委員

事務局 濱村 藤本

1 開会の言葉【事務局】

2 学校長挨拶

先日お祭りに参加させていただき、地域で育まれる子供たちについて考えさせていただく機会になりました。子供たちの様子はやっぱり学校にいる時と地域にいるときと違い、すごく楽しみながら地域の大人の人たちの考え方を感じたんだと思います。

～授業参観～

3 授業参観の感想

【委員】 時代とのギャップ 自分だったらタブレットはできない。

【委員】 子どもたちらしく授業を受けていた。もっと見たかった。今の時代に即している内容。先生たちの大変さも分かる。

【委員】 1年生であんなにできるってすごい。

【委員】 答えがないような問題についても子供達が考えているところを重視している。

【委員】 昔は大会としてスポーツテストをやった。大会としてやると力の力の入れ具合が違う。

【委員】 若い先生が多い。先生方の表情がよく、子どもたちに寄り添っている様子に感心した。

4 協議事項

議長【会長】

(1) 見守りたい活動報告【コーディネーター】

- ・サポーターが徐々に増えていけば良い。自分たちの子供が地域のこどもとかんがえられ
ばいい。少なければ少ないなりに編成していく。
出来るときにという緩やかな表現の文書を。軽い気持ちでできるように作り直す方向
で、もう一度だけ募集をする。年内にはスタートさせていきたい
- ・始めてみて改善していけばいい。
- ・先に日にちを決めてしまったほうが良いのでは
- ・みなで集まったときに日にちを決めようと思っている。
- ・いろいろな団体があると思うけれど強制的にやると続かない。
- ・いろいろな団体が多すぎてサポーターが集まらない。

- ・いつも同じようなメンバーになってしまう。
- ・あまりにも集まらないなら、各種団体から2名は入ってもらおう。そういうような形で八幡野小の子どもたちのためなら
- ・八幡野小だけでなく、区のことということで相談してみる。

(2) 地域で学ぶ学習等について【事務局】

ボランティアの方々がたくさん来てくださっている。例えば 読み聞かせ。火曜日にやるだけの方々がだいたい 7～8名ぐらいで来てくれる。その他に 水曜日の昼休みに図書室で本を借りて読みたいという子たちのために図書の貸し出しを ボランティアで入ってくれている。

その他に、子供たちの地域で学ぶ学習につながってきていると思うが5年生が11月に自然教室で伊豆高原学園に泊まる予定。学習する内容としては子供たちがそれぞれが自分の学びたいということを考えている。植物について海岸 についてなどあるがそれぞれのテーマごとに ゲストティーチャーが関わってくれている。かつては、みんなで同じことをしたというのが、今はもう個別最適な学習となっている。

それから6年生がスノーケリング教室を行った。

【委員】 海で泳ぐ子はほとんどいない。

【委員】 大淀、小淀に行く子が多い。

【委員】 八幡野の海の良さ、昔は貝をとってもよかった。海の家もあった。スノーケリングで初めて海で泳いだというのは信じられなかった。

(3) 創立150周年について【事務局】

後期の6年学級委員が子供たちの代表になって、まずは6年生にアンケートを取った。そこから絞って全校に聞いていく。

(4) その他ご意見等
発言なし

(5) 次回日程確認【事務局】

5 閉会の言葉【副委員長】